

地域の取り組み

地域では一人暮らしの高齢者を孤立から防ぎ、つながりをつくるさまざまな活動が行われています。その中からマンションや町内会などで行われている3つの活動について紹介します。

「丸山すずらの会」



あいさつから始まる
人と人とのふれあいが原点。

▲よさこいや音楽家を招待し、盛況だった茶話会

「丸山すずらの会」は、富丘丸山町内会福祉対策部のメンバーと地域の有志で構成されています。「明るく・元気で・楽しく」をモットーに、日ごろから町内の高齢者に対して「見守り・声掛け」、「絵手紙の送付」、「春と秋の生き生きクラブ茶話会」などの取り組みを行っています。

「カトレア会」

「カトレア会」は稲穂にあるマンション「パシフィック星置ヒルズ」の住人によって結成され、居住する高齢者が交流するためのサロンを月に1回同マンション集会室で行っています。



▲▶食事をしながら
会話に花が咲きました

マンションの住人同士の
仲間意識が芽生え、会つ
が楽しみに。

「シニアサロンつくし」

西宮の沢のつくし町内会が設立した「シニアサロンつくし」は、町内の枠を越えて主に高齢者の集う場所を提供しています。町内の貸しビルに事務所を設け、週5日、手芸教室や囲碁教室、介護予防教室などさまざまな教室を開いています。



▲笑い声に溢れた手芸教室



▲えとにちなんだ作品

さまざまな教室を通して
生きがいと仲間づくり。

民生委員 ・児童委員

手稲区には、176人の民生委員・児童委員が「お元気ですか！の一声で心つながり地域の輪」をモットーにさまざまな活動を行っています。一人暮らし高齢者世帯などへの声掛け、見守り、巡回相談などの活動で実際に孤立死を防いだケースもあります。地域の安全・安心のためにさまざまな活動を通じて、皆さんの暮らしを応援しています。

民生委員・児童委員による一人暮らしの高齢者等
巡回相談件数の推移（手稲区の延べ件数）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	15,968	17,898	20,436

一人暮らしの高齢者が安心して暮らしていくためには、人と人とのつながり、ふれあいのある地域づくりが重要です。互いに無理のない関係の中で、あいさつができる環境づくりがその第一歩です。

このページに関するお問い合わせは 保健福祉課活動推進担当 ☎681-2400 内線(327)